

INDEX

- 2 政府の成長戦略
- 3 エネルギー戦略
- 4 国際標準化
- 6 スマートコミュニティー
- 7 メイカーズ
- 8 自動車
- 9 自動車部品
- 10 工作機械
- 11 鍛圧機械
- 12・13 ロボット
- 15 電機
- 16 電子部品
- 17 計測器
- 18 建設機械
- 19 ゼネコン
- 20・21 ICT
- 23 化学
- 24 医薬
- 25 生命保険
- 27 インフラ
- 28 環境
- 29 人材育成

世界に広がる メイド・オブ・ジャパン

大成建設が手がけたトルコ・イスタンブールのボスポラス海峡横断鉄道トンネルでは、高度な土木技術に加えICTやロボット技術を駆使することで、複雑な自然条件下での難工事を無事成功に導いた。昨年10月の開通式典には同国のエルドアン首相(中央)や安倍首相(右から3人目)も出席し、地下鉄に試乗(EP A11時事)



「おもてなし」の言葉が象徴するのは、つねにお客さまがどうしたら満足するかを想定し、隅々まで心が行き届いたものや行為を提供するということ。それこそ、日本の製品やサービスが持つ美質と言っても過言ではないだろう。

安倍政権の経済政策、いわゆる「アベノミクス」により、企業を取り巻く環境は着実に好転しつつある。その一方で企業間の競争は激しさを増し、しかも、国内で少子高齢化が進むなか、持続的な成長を果たしていく

大型旅客機への本格採用が始まり、自動車、鉄道車両などへの適用拡大も期待される炭素繊維材料(炭素繊維複合材で軽量化を図った東レの電気自動車コンセプトカー)



「日本の心」製品に

「おもてなし」

アナログが生かす

「おもてなし」。昨秋に行われた2020年東京オリンピックの招致プレゼンテーション。このフレーズが五輪招致を決定づける大きな役割を果たすと同時に、国内外に鮮烈な印象を残したのは記憶に新しい。茶の湯にも通じるこの言葉が象徴するのは、つねにお客さまがどうしたら満足するかを想定し、隅々まで心が行き届いたものや行為を提供するということ。それこそ、日本の製品やサービスが持つ美質と言っても過言ではないだろう。

安倍政権の経済政策、いわゆる「アベノミクス」により、企業を取り巻く環境は着実に好転しつつある。その一方で企業間の競争は激しさを増し、しかも、国内で少子高齢化が進むなか、持続的な成長を果たしていく

ドイツ・ポーフムの病院ではロボットスーツ「HAL(ハル)」をリハビリテーションに活用。ドイツ公的職業保険組合と組んでHALの導入・普及推進に向けた事業会社も現地に設立された(サイバーダイン)



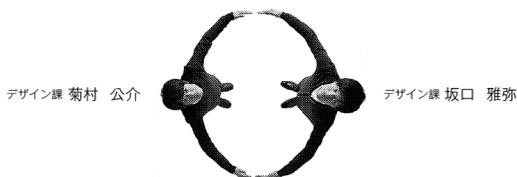
ゼロのプロです。

MEIDEN Engineer's Note: No.17
プロダクトデザイン

使う人のことを考えて、使いにくい部分も、危険性も、無駄なコストも0にする。私たち明電舎のデザイン課には、問題をゼロにする技術があります。それを支えるのは「人間中心設計」という思想。使う人の視点で、何度もデザインアイデアを練ります。発電装置や監視制御システムなど、社会性の高い製品を扱うからこそ、使いにくさがゼロになればみんなの利便性が最大になる。プレッシャーだけはゼロになりませんが、やりがいのある仕事です。今日も手を動かして、未来を描いています。

>>> [明電舎 エンジニアズノート](#) [検索](#)

テクノロジーで、流れを変える。



デザイン課 菊村 公介

デザイン課 坂口 雅弥